

Ryukoku Public Lecture

RYUKOKU
UNIVERSITY7月1日
びわ湖の日

びわ湖の日 滋賀県提携 公開講座

「びわ湖の日（7月1日）」にちなみ、びわ湖の保全再生、持続可能な社会づくりに向けて、一人ひとりに新たな気づきを得ていただくことを目的に、例年、滋賀県と龍谷大学の提携による**参加無料**の公開講座を実施しており、2026年度は2回開催します（各回のみ参加可能）。

第1回

近江の歴史が育んだ生き物たち ～三井寺の名を持つヘッピリムシや、琵琶湖に生きるドジョウの物語～

- 開催日時：2026年**8月1日**（土）11:00～12:00
- 講師：**高倉 耕一**（滋賀県立大学 環境科学部 教授）
- 講座概要：滋賀県には、金属のように美しく輝くミドリセンチコガネや、敵におそわれるとガスを出して身を守るミイデラゴミムシ、琵琶湖固有種かつ絶滅危惧種であるビワコガタスジシマドジョウなど、個性豊かな昆虫や魚が生息しています。本講座では、DAISOオリジナルトレーディングカードゲーム「蟲神器」にも登場する昆虫などの生態を紹介し、身近な自然にひそむ不思議や面白さに迫るとともに、琵琶湖の自然や生物多様性を守る大切さを考えます。



第2回

琵琶湖の生態系を支える生物多様性 ～目に見えない生き物が担う多彩な役割～

- 開催日時：2026年**10月3日**（土）11:00～12:00
- 講師：**三木 健**（龍谷大学 先端理工学部 教授）
- 講座概要：琵琶湖には、魚や水草、目に見えない微生物まで、多様な生き物が暮らしており、それぞれが独立して存在しているのではなく、互いに関わり合いながら、水環境や生態系を形作っています。本講座では、特に目に見えない微生物の多様性が高いからこそ琵琶湖の恵みが維持されている、その仕組みを分かりやすく紹介するとともに、琵琶湖の周囲の河川まで含めた視点を考えます。



開催場所 龍谷大学瀬田キャンパス RECホール1階 小ホール（滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5）
※対面とオンラインのハイブリッド開催

申込方法 右記の二次元コードより、各回ごとにお申し込みください。＜無料＞

定員 各回 40名（対面）+100名（オンライン）＜先着順＞

主催 龍谷大学・滋賀県

問合せ先 龍谷大学イノベーション推進センター

E-mail：innovation@ad.ryukoku.ac.jp Tel：077-543-7743



<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-18641.html>